



ハクサイ編

病害虫注意報 2021年8月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

育苗期～定植前おすすめ防除

この時期の防除は、残効の長い粒剤や灌注剤を用いての省力化がおすすめです

プリンスフロアブル

ハイマダラノメイガ・コナガ

0.5L/セル成型育苗トレイ1箱

またはペーパーポット1冊 100倍灌注

定植前まで/1回



プレバソフロアブル5

コナガ・アオムシ・ハイマダラノメイガ・カブラバチ・ヨトウムシ

0.5L/セル成型育苗トレイ1箱

またはペーパーポット1冊 100倍灌注

育苗期後半～定植当日/1回



ミネクトデュオ粒剤

1g/株

定植時株元散布 1回

アブラムシ類・コナガ
40g/セル成型育苗トレイ1箱
またはペーパーポット1冊
は種覆土後～育苗期後半 1回

カブラバチ
40g/セル成型育苗トレイ1箱
またはペーパーポット1冊
は種覆土後～育苗期後半 1回



注意



ミネクトデュオ粒剤を使用した場合、
下記の薬剤は苗場での使用ができません!!

- ・ベリマークSC
- ・ベネビアOD
- ・アクタラ粒剤5
- ・ジュリボフロアブル
- ・プリロッソ粒剤
- ・アベイル粒剤
- ・アクタラ顆粒水溶剤

コナガなどのチョウ目害虫や
アブラムシ類に効果の高い
ミネクトデュオ粒剤の処理が
おすすめです ※弊社試験結果より



灌注処理剤の上手な使い方

- ・灌注処理は定植3～5日前が最適です
- ・定植数日前に処理して、十分に成分を吸わせることで高い効果を発揮します

粒剤処理2週間前後、または害虫発生時は、適宜散布剤による防除を行ってください

薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数
フローバックDF	1,000倍	収穫前日(発生初期)	-
スピノエース顆粒水和剤	2,500～5,000倍	収穫3日前	3回
アフーム乳剤	1,000～2,000倍	収穫3日前	3回
エルサン乳剤	1,000～2,000倍	収穫30日前	2回

黄化病対策に!

バスアミド[®]微粒剤

黄化病、根ぐびれ病、根こぶ病、尻腐病
初アセンチュウ、一年生雑草
20～30kg/10a
は種又は定植21日前 1回

～使用上の注意～

- ・前作、黄化病発生圃場では被覆をしてください
- ・ガス抜きを行ってください(2回)
- ・土壌中に土を握って崩れない程度の水分を含んだ状態で散布してください



新規登録農薬紹介

プロフレアSC

- ★ 新規成分プロフラニド(IRAC : 30)
- ★ 速効的な殺虫効果と3週間の残効性

コナガ・ハイマダラノメイガ・オオバコガ
ヨトウムシ・ハスモンヨトウ・アオムシ
2,000～4,000倍
収穫前日まで/3回以内

